

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

福岡県立新宮高等学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	新宮高校第3学年バドミントン選択種目生徒
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (短期海外研修の事前学習) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ競技を体験した生徒に教える機会を設けることで、「教え合いの場」が増え、パラリンピックを身近に感じることができるようになる。 ・通常行っているバドミントン種目をパラリンピックルールに変更させることで、生徒達が思考し、判断し、再実行するというPDCAサイクルを用いることができるようになる。
5 取組内容	取り組みの一つとして実施した福岡特別支援学校高等部生徒とのボッチャ競技を行った生徒を中心に、活動を行った。また、選択種目であるバドミントンをコートに制限を設けてパラリンピック種目にルールを近づけて活動を行った。ボッチャや他の障がい者スポーツのルールの工夫をヒントとさせながら、「みんなが楽しめる」といった観点から新宮高校独自のバドミントンルールを考案させていった。
6 主な成果	今回、3学年生徒を中心に活動を行った結果、生徒自らが多くの情報を入手し、活動に展開する姿勢が多数見られた。ボッチャ競技を通じて普段行っている体育の種目では味わうことのできないチーム意識や達成感を感じパラリンピックへの興味関心を大いに抱くことが出来たと確信している。 また、通常の選択体育で実施しているバドミントンルールに競技区域や、ネットの高さを変えることでパラリンピック種目に近づけた内容に変更し、普段とは違う作戦や戦術を生徒自らが感じ、チームでの作戦タイムなどを設けて活発な活動を通じて大きな成果を上げることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ体験をした生徒を対象の中心とすることで、ボッチャ体験の経験を生かしていくことができるようにした。 ・バドミントンルールを工夫する活動を中心に据えたこと。

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none">• ルールを工夫していくための観点を明確にしていくこと• 何を目的にルールを工夫していくのかを明確にすること
9 来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none">• 今年度の成果と課題を踏まえた上で、来年度以降もさらに充実させて実施していきたい。